



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月31日

上場会社名 大正製薬ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4581 URL <http://www.taisho-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上原 明
 問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 坪井 正樹 (TEL) 03-3985-2020
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日 配当支払開始予定日 平成25年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	144,563	3.3	21,509	10.0	25,575	8.0	16,516	30.4
25年3月期第2四半期	139,952	—	19,546	—	23,671	—	12,666	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 27,754百万円 (113.0%) 25年3月期第2四半期 13,031百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第2四半期	203	68	203	63
25年3月期第2四半期	156	87	156	86

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
26年3月期第2四半期	699,442		599,308		84.1	
25年3月期	676,388		578,158		83.6	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 587,884百万円 25年3月期 565,714百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
25年3月期	—	—	60	00	—	—	60	00	120	00
26年3月期	—	—	50	00						
26年3月期(予想)					—	—	60	00	110	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	294,500	3.3	38,000	7.5	46,500	5.3	30,000	14.0	369	96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	90,139,653株	25年3月期	90,139,653株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	9,050,681株	25年3月期	9,044,606株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	81,091,384株	25年3月期2Q	80,742,026株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（その他特記事項）

当社は、平成23年10月3日に単独株式移転により設立されたため、（1）連結経営成績（累計）の25年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率はありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

セルフメディケーション事業の中心分野であるOTC医薬品市場は、夏場に総合感冒薬など一部のカテゴリで多少の伸びがみられましたが、ドリンク剤、胃腸薬などの主力カテゴリが前年を下回り、引き続き低調裡に推移しました。

医薬事業につきましても、新薬の創出が困難になりつつあるなか、世界的な承認審査の厳格化や医療費適正化諸施策の浸透などにより、厳しい事業環境が続いております。

こうした事業環境の中で、当社グループのセルフメディケーション事業部門は、情報提供や店頭販促などを強化するとともに、生活習慣病のような成長領域に積極的に取り組んでおります。また、新事業・新カテゴリに対しても挑戦を行いながら、国内OTC医薬品市場の活性化に努めております。海外市場においては、アジア地域を中心にドリンク剤事業に加えてOTC医薬品事業を積極的に展開し、事業基盤の強化に取り組んでおります。

医薬事業部門では、情報提供活動を中心とする営業力の強化を図るとともに、自社オリジナル開発物質の継続的な創出と開発のスピードアップに努めております。

このような事業活動により、当第2四半期連結累計期間のグループ全体売上高は、1,445億6千3百万円余（前年同四半期比+46億1千万円余、3.3%増—以下括弧内文言「前年同四半期比」省略）となりました。

セグメント別の売上高は次のとおりであります。

セルフメディケーション事業	914億円（+42億円	4.9%増）
内訳		
国内	770億円（△6億円	0.7%減）
海外	130 〃（+47 〃	57.0%増）
その他	14 〃（+1 〃	5.5%増）
医薬事業	531億円（+4億円	0.7%増）
内訳		
医療用医薬品	521億円（+33億円	6.7%増）
中間製品等	9 〃（△29 〃	76.6%減）
工業所有権等使用料収益	1 〃（+0 〃	19.1%増）

両事業部門主要製品の売り上げ状況は次のとおりであります。

<セルフメディケーション事業>

当第2四半期連結累計期間売上高は、914億円（+42億円、4.9%増）となりました。

ドリンク剤の「リポビタミンシリーズ」は、平成25年4月に発売したノンカフェイン・低カロリーの「リポビタミンフィール」が寄与したものの、主力の「リポビタミンD」が前年を下回り（3.9%減）、シリーズ全体では376億円（1.5%減）となりました。

風邪薬「パブロンシリーズ」は、主力の総合感冒薬が7月以降順調に伸長し前年比プラスに転じたことなどにより、シリーズ全体では104億円（0.3%増）となりました。

発毛剤「リアップシリーズ」は、平成24年12月発売の爽快系発毛剤「リアップジェット」が寄与し、シリーズ全体で70億円（1.6%増）となりました。

その他のブランドでは、解熱鎮痛薬「ナロンシリーズ」は21億円（0.1%増）、ミニドリンク剤の「ゼナシリーズ」は15億円（4.6%増）、「ヴィックスシリーズ」は12億円（6.8%増）と前年を上回りましたが、特定保健用食品等の「リビタシリーズ」は21億円（14.0%減）、「胃腸薬シリーズ」は19億円（5.5%減）、便秘薬「コーラックシリーズ」は17億円（6.3%減）と前年を下回りました。

一方、現在注力中の海外OTC医薬品事業では、大正オソサパ製薬OTC医薬品事業及び平成24年7月に買収したCICSA社等4社の寄与に加え、昨年末から続く円安基調の影響もあり、78億円（81.2%増）となりました。

<医薬事業>

当第2四半期連結累計期間売上高は、531億円（+4億円、0.7%増）となりました。

増収となりましたのは、β-ラクタマーゼ阻害剤配合ペニシリン系抗菌薬「ゾシン」122億円（19.7%増）、骨粗鬆症治療剤「エディロール」60億円（71.0%増）、キノロン系抗菌薬「ジェニナック」32億円（24.8%増）でした。一方、マクロライド系抗菌薬「クラリス」は68億円（12.7%減）、末梢循環改善薬「パルクス」は40億円（8.5%減）、ニューキノロン系抗菌薬「オゼックス」は31億円（10.6%減）と前年比マイナスとなりました。

中間製品等の売上高は、一部製品の供給契約満了により、9億円（76.6%減）と前年比で大きくマイナスとなりました。

利益面につきましては、販売費及び一般管理費が、販促費、人件費等の増加で前年より増加しましたが、売上高の増加および売上原価率の改善により売上総利益が前年比3.6%増加し、営業利益は215億9百万円余（10.0%増）、経常利益は255億7千5百万円余（8.0%増）、四半期純利益は165億1千6百万円余（30.4%増※）となりました。

（※）前期は投資有価証券評価損22億円を計上

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ231億円増加し、6,994億円となりました。受取手形及び売掛金が64億円減少しましたが、現金及び預金が222億円、投資有価証券が85億円それぞれ増加となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ19億円増加し、1,001億円となりました。未払法人税等が44億円増加しましたが、支払手形及び買掛金が13億円、未払金が12億円それぞれ減少となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ211億円増加し、5,993億円となりました。四半期純利益165億円、その他有価証券評価差額金58億円、為替換算調整勘定47億円が主な増加要因であり、剰余金の配当49億円が主な減少要因でした。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期の業績の動向等をふまえ、平成25年5月10日に公表しました通期連結業績予想を以下の通り修正致します。

ー売上高

連結売上高予想を従来予想から15億円引き上げ、2,945億円に修正致します。セルフメディケーション事業では、ドリンク剤市場の動向や「リポビタミンシリーズ」等の売り上げ状況などをふまえ、予想を下方に修正、医薬事業では「ゾシン」「エディロール」等の売り上げが堅調に推移していることや、本年8月に発売の骨粗鬆症治療剤「ボンビバ」の寄与などを織り込み予想を上方に修正致します。

ー利益面

営業利益の予想を380億円（従来予想比15億円減）、経常利益の予想を465億円（従来予想比10億円減）に修正致します。売上構成比の変化等による売上原価の増加、販売費及び一般管理費、持分法投資損益の見直しなどを予想に織り込んでおります。なお、当期純利益の予想は、法人税等の見直しなどにより従来予想300億円を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	117,303	139,505
受取手形及び売掛金	83,739	77,324
有価証券	14,426	10,125
商品及び製品	15,686	17,376
仕掛品	1,914	1,803
原材料及び貯蔵品	8,231	8,772
繰延税金資産	6,522	7,306
その他	7,064	4,014
貸倒引当金	△561	△587
流動資産合計	254,326	265,643
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	48,738	48,366
機械装置及び運搬具（純額）	6,899	8,991
土地	37,773	37,788
建設仮勘定	3,661	3,863
その他（純額）	3,843	3,662
有形固定資産合計	100,916	102,672
無形固定資産		
のれん	21,746	23,207
販売権	8,198	7,581
商標権	11,831	12,119
ソフトウェア	2,168	1,874
その他	433	592
無形固定資産合計	44,377	45,375
投資その他の資産		
投資有価証券	208,006	216,469
関係会社株式	49,576	50,524
関係会社出資金	1,174	1,174
長期前払費用	930	934
繰延税金資産	7,267	6,401
その他	9,934	10,390
貸倒引当金	△121	△143
投資その他の資産合計	276,766	285,751
固定資産合計	422,061	433,799
資産合計	676,388	699,442

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,352	27,038
未払金	12,534	11,327
未払法人税等	3,709	8,120
未払費用	8,895	9,479
返品調整引当金	528	511
賞与引当金	4,662	4,572
その他	4,151	1,376
流動負債合計	62,834	62,425
固定負債		
退職給付引当金	18,212	18,146
役員退職慰労引当金	1,667	1,623
繰延税金負債	10,903	13,055
その他	4,610	4,884
固定負債合計	35,394	37,709
負債合計	98,229	100,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	15,270	15,269
利益剰余金	567,809	579,456
自己株式	△57,396	△57,439
株主資本合計	555,683	567,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,044	21,865
為替換算調整勘定	△6,013	△1,267
その他の包括利益累計額合計	10,030	20,597
新株予約権	91	180
少数株主持分	12,352	11,243
純資産合計	578,158	599,308
負債純資産合計	676,388	699,442

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	139,952	144,563
売上原価	52,434	53,901
売上総利益	87,518	90,661
返品調整引当金戻入額	460	517
返品調整引当金繰入額	516	499
差引売上総利益	87,462	90,679
販売費及び一般管理費	67,915	69,170
営業利益	19,546	21,509
営業外収益		
受取利息	2,671	2,627
受取配当金	575	607
持分法による投資利益	623	592
その他	351	406
営業外収益合計	4,222	4,234
営業外費用		
支払利息	8	1
為替差損	16	96
支払手数料	62	56
その他	9	12
営業外費用合計	97	167
経常利益	23,671	25,575
特別利益		
固定資産売却益	364	48
投資有価証券売却益	—	56
特別利益合計	364	105
特別損失		
固定資産処分損	149	15
投資有価証券評価損	2,199	—
特別退職金	67	—
特別損失合計	2,416	15
税金等調整前四半期純利益	21,620	25,665
法人税等	8,306	8,483
少数株主損益調整前四半期純利益	13,314	17,182
少数株主利益	647	665
四半期純利益	12,666	16,516

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	13,314	17,182
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△502	5,323
為替換算調整勘定	304	4,773
持分法適用会社に対する持分相当額	△84	475
その他の包括利益合計	△282	10,572
四半期包括利益	13,031	27,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,407	27,083
少数株主に係る四半期包括利益	624	671

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	21,620	25,665
減価償却費	5,354	5,208
のれん償却額	503	665
固定資産売却損益(△は益)	△364	△48
固定資産処分損益(△は益)	149	15
投資有価証券評価損益(△は益)	2,199	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△56
受取利息及び受取配当金	△3,247	△3,235
支払利息	8	1
持分法による投資損益(△は益)	△623	△592
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△21	△19
退職給付引当金の増減額(△は減少)	168	△85
前払年金費用の増減額(△は増加)	△570	△8
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	18	△43
賞与引当金の増減額(△は減少)	△137	△97
売上債権の増減額(△は増加)	△3,589	6,937
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,426	△1,965
仕入債務の増減額(△は減少)	2,098	△1,472
長期未払金の増減額(△は減少)	△23	86
その他	355	△2,262
小計	21,471	28,692
利息及び配当金の受取額	3,323	3,384
利息の支払額	△8	△1
法人税等の支払額	△6,341	△4,361
法人税等の還付額	5,087	2,887
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,533	30,601
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△55	△1,598
有価証券の売却及び償還による収入	13,500	9,300
有形固定資産の取得による支出	△6,283	△5,541
有形固定資産の売却による収入	497	68
無形固定資産の取得による支出	△513	△175
無形固定資産の売却による収入	31	0
投資有価証券の取得による支出	△6,075	△6,000
投資有価証券の売却及び償還による収入	38	141
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△6,007	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	781	—
子会社株式の取得による支出	△43	△2,667
子会社株式の売却による収入	60	7
長期前払費用の取得による支出	△291	△242
その他	149	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,211	△6,719

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	74	105
短期借入金の返済による支出	△349	△70
長期借入金の返済による支出	△15	—
少数株主からの払込みによる収入	110	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△158	△76
自己株式の取得による支出	△29	△50
配当金の支払額	△4,052	△4,850
少数株主への配当金の支払額	△278	△184
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,700	△5,126
現金及び現金同等物に係る換算差額	△49	946
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	14,572	19,702
現金及び現金同等物の期首残高	84,468	106,117
現金及び現金同等物の四半期末残高	99,040	125,819

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディ ケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	87,195	52,757	139,952	—	139,952
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	87,195	52,757	139,952	—	139,952
セグメント利益(注2)	19,027	1,088	20,116	△569	19,546

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディ ケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	91,433	53,130	144,563	—	144,563
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	91,433	53,130	144,563	—	144,563
セグメント利益(注2)	19,960	2,151	22,112	△602	21,509

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益はありません。